

6月25日@ちがさきセンター 26日@葉山センター

遊佐町共同開発米部会事務局長の池田さん、JA 庄内みどりの佐藤さんを招いて開催しました。両日とも多くの組合員の参加があり、にぎやかな雰囲気の中、米作りにかかる情熱が詰まったお話をお二人から聞くことができました。

昨年は猛暑で収穫が例年通りにはいかなかったが、今年の苗の発育にも多大な影響を及ぼしていること、みんなが望む無農薬栽培は雑草との戦いであることなど、厳しい状況でありながら生き活きと語られました。

自分が食べているお米を育ててくれた人に直接会って聞ける、そんな関係がどんなに貴重なことかと再確認できました。生産者の「遊佐のお米は冷めても美味しい」の言葉を受け、冷ました塩おにぎりと炊きたてを食べ比べる試食を実施。参加者から「おにぎり美味

しい」と声上がり、その結果2日間で7名の新たな予約につながりました。

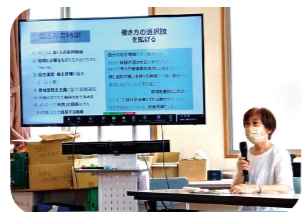


報告・W.Co 講座

7月8日 @ちがさきセンター (オンライン併用)

W.Co (ワーカーズ・コレクティブ) とは、雇う雇われるという働き方とは違い、みんなで出資し経営に責任を持つ働き方です。生活クラブでは配送やデポの店舗運営などを担う W.Co を生み出し、コモンズ・デポと協約を結んで業務委託しています。今回は組合員リーダーを対象として、「そもそも W.Co って何?」から委託 W.Co の業務内容や歴史などについて、W.Co で働いている人 (ワーカーズ) から直接お話を聞きました。

参加者からは「W.Co という働き方をいいなと思いました。子育て中でも家庭を中心に働けるし、自分のやりたいことを愛を持って仕事ができると思いました」という感想や、「W.Co で働くことは地域社会をより良くしていることがわかりました。そのことがもっと多くの人に伝わってほしい」という感想が寄せられました。



編集後記

今年度より新任理事として就任しました。新しい事を始めてみようと思い、防災減災コミュニティリーダー活動に参加します。今から楽しみです♪(太田)

報告 第21期福祉たすけあい基金贈呈式

6月29日@スペースオルタ (オンライン併用)

「福祉たすけあい基金」は私たちが毎月寄付する100円で地域の市民活動を応援する基金です。贈呈式は助成団体がどんな活動をし、助成金をどのように活用しているかを知ることができる場です。今回は新事業を立ち上げる団体を応援するスタート助成で、17団体の9団体が湘南エリアでした。その中から2団体を紹介します。

◆寒川町の赤ちゃん食堂「ままな」
コロナでつながりが絶たれたママたちが集まって、子どもの離乳食だけでなく、ママも温かいご飯を食べ休憩タイムを持てる居場所。

◆逗子市のNPO法人「ハビリテーションケア」
元の状態への回復を目指す「リ(re:再)ハビリテーション」と異なり、本来持っている能力を発達させるという意味で、障害の有無にかかわらず一緒に踊る楽しみを共有できる企画などを行っています。



福祉たすけあい基金は10月から福祉だけではなく食や環境など多岐に渡る活動を応援できる「まちづくり基金」へと変わります。私たち一人ひとりの100円が「地域の課題を何とかしたい!」と行動する団体の助成に活用されることで、私たちの住み暮らしやすい地域づくりにもつながります。ぜひ組合員全員の100円で応援しましょう!

【理事会報告】

第1回臨時理事会 (5月31日)

- ・理事長、常務理事と専務理事及び代表理事の選任
- ・2024年度理事会担当・役割の最終承認

第1回定例理事会 (6月7日)

- ・2024年度クリスマス・お正月用品利用推進活動について
- ・2024年度居場所をテーマとしたアソシエーション支援基金の助成審査と決定

第2回定例理事会 (7月10日)

- ・第21回通常総代会総括
- ・「東日本大震災・復興まつり 2024」の湘南の活動について

湘南

サステイナブルなひと、生活クラブ
2024. 9月号

鎌倉C・逗葉・よこすか・藤沢北・湘南ふじさわ・茅ヶ崎・ひらつか・なかくん・城下町・はだの・足柄・ちがさき・らいふたうん・鎌倉D・ひらつか西海岸

祝 鎌倉デポー リニューアルオープン!



鎌倉デポーが7月26日(金)にリニューアルオープンしました。

暑い日差しが降りそそぐ朝10時、多くのご来賓や組合員に見守られながらオープニングセレモニーが開催されました。現役音大生による木管三重奏から始まり、鎌倉デポーのマネージャー、運営委員長、運営委員会担当理事によるテープカットでいよいよお店がオープン。フロアは組合員による飾りつけが施され、久しぶりに来所する組合員の笑顔であふれました。

2年前、組合員になりたての運営委員会メンバーにとって、「生活クラブの活動」ってなに?どんなことをするのか?というところからリニューアルに向けた活動がスタートしました。「デポーリニューアル」という言葉を聞き、その活動の意味を知り「そうなのか」「そういうことなのか」を毎日理解・体験をし、経験豊かなワーカーズと組合員と運営委員会が協力して、晴れやかな気持ちでオープン初日を迎えました。

<具体的な活動はどんな感じ?>

リニューアル拡大基準達成をめざして、組合員を増やすためにさまざまな活動を展開しました。フロアで「どなたか加入してくれる方を紹介してくれませんか?」こんな声かけを「チラ見」した組合員が、未加入者をつれてきてくれます。デポーに集う組合員の連携ですね。こんな場面に何度も出会いました。

「デポーリニューアル活動」を考えると、よく車輪に例えます。車輪は片方だけでも、速度や大きさが違ってても行きたい方向に進めません。両輪が足並みをそろえることで初めて思い通りに進むことができます。リニューアル活動において、車輪は組合員とW.Coデポットです。横を走る様子をチラ見し、思いやることができると大きな成果に結びつきます。経験がなくてもやってみようという「素直な気持ち」と努力している人への「思いやり」があれば大きな目標を達成できるのだという気づきになりました。





<今後はどうなるの...>

リニューアルオープンはゴールではなく、デポーの新たな未来のスタートラインです。これからもリニューアル活動は続いていきます。リニューアル活動で私たちの仲間になったおおぜいの新規組合員に生活クラブ運動や消費材の良さを伝え、利用の定着をめざします。さらなる進化発展を今後も見守ってください。

また、ちがさきデポーでは2025年度に向けてリニューアル前年活動がスタートしています。デポーごとに違った色があります。ちがさきデポーリニューアル活動はどんな形ですんでゆくのか今から楽しみです。組合員みんなで応援していきましょう。



組織報告	組合員数(6月末現在) 21,243人 (4月期首 21,176人) ●班 1,290人 ●個配 14,165人 ●デポー 5,604人 ●未組織 184人	  《Facebook》 《Instagram》
	世帯当たり利用高(6月) 21,653円 (前年度同月比 99.4%) ●班 25,008円 ●個配 24,235円 ●デポー 14,344円	
発行	第183号 2024.9.12 湘南生活クラブ理事会	発行責任: 上石 理恵 編集責任: 米村 聡子



秋の仲間づくり

あなたの身近に感じる「生活クラブのある暮らし」や消費材のおいしさをお友だちに伝えて、生活クラブの仲間を増やしましょう！

コモンズはインターネット注文サイト「eくらぶ」に登録するとWEB加入特典があります。デポーはウエルカム3DAYS（9月～11月）で組合員と地域の人に向けた楽しい企画が開催されます。ぜひお友だちを誘ってお近くのデポーに足を運んでみてください。

【コモンズ（個配・班）】 おいしいでつながろう！

コモンズ	紹介すると	加入すると
お友達へ	・温州みかんジュース 485 ml ・豚ひき肉 240g+ポークウィンナー 165g	・個別システム手数料 1年間無料 ・プレママ・ママ特典 ・eくらぶに登録するとWEB加入特典
あなたへ	・温州みかんジュース 485 ml	

9月2日(月) ~ 10月31日(日)

【デポー（店舗）】 あなたの「これすき！」から組合員の輪が広がります

デポー	紹介すると	加入すると
お友達へ	・500円お買い物券	・1,000円お買い物券
あなたへ	・500円お買い物券+人気の消費材1点 (鶏卵10個パック・トマトケチャップ・スパゲッティ1.6mm 450gの中から1点)	・500円お買い物券

9月1日(日) ~ 11月30日(日)

組合員集会開催報告

今年はF(消費材)、E(環境・エネルギー)、C(たすけあい)の重点活動に加え「生活クラブまちづくり基金」についてよりおおぜいの組合員に伝える場面を増やして、組合員集会を開催しました。

【コモンズはだの】

6/26・7/4・7/25 @はだのステーション
7/6 @保健福祉センター

運営委員会、FEC委員会それぞれが主催して合計4日間で組合員集会を開催しました。毎回趣向を凝らし、目ツボマッサージや絵本の読み聞かせなどを行いました。はだのステーションは賃貸の一軒家、自分の家のように寛げ、庭もあります。F委員会主催の回には、バーベキューコンロで消費材の豚肉や鶏肉を焼いて、みんなでおいしくいただきながら消費材の話などをしました。

赤ちゃん連れのママからベテラン組合員まで、いろいろな人が参加してくれて、アットホームな雰囲気の中で初めましての人同士も話が弾みました。同じ「組合員」というつながりがあるからこそだなあと実感することができました。



【逗葉コモンズ】

6/20・6/27 @葉山センター
7/5 @黒門カルチャーくらぶ

「コモンズフェスタ逗葉」と題し、3日間計5回の組合員集会を開催しました。6/20と7/5はFECW+生活リハビリクラブ葉山のブースを設け、スタンプラリー方式で実施し、「生活クラブまちづくり基金」の説明を聞く場もつくりました。各ブースではお米の食べ比べや、せっけんのミニ講座などを企画し、来場したみなさんはそれぞれのブースで興味深く耳を傾けていました。電話でお誘いした新規加入の組合員も参加、つながりのきっかけ作りとなり、生活クラブの活動を伝えられたことはよかったです。

6/27は湘南生活クラブF推進会議主催の遊佐・米消費地交流会に参加してもらいました。直接生産者の声を聞くことができ、知って食べ続けることの大切さを学ぶ共育の場となりました。何十年も組合員で消費材を食べていたものの「お米の話聞くのは初めてで、これから予約をして食べます」と今年度のF委員が話してくれました。



【らいふたうんデポー】

7/9・7/12・7/13
@らいふたうんデポー集會室

雨に降られ来所の足が鈍りましたが、3日間ともFECのブースを設け、43名の組合員の人たちと話し、楽しいひとときになりました。

Fでは牛乳単体の飲み方よりもさらにおいしい飲み方を紹介、お米はご飯のお供シリーズに焦点を当て、それぞれの消費材の魅力をアピールしました。Eでは生活クラブでんきの内容についてクイズ形式で解説し、理解を深めることができました。Cではエコロ共済・エコロプラスや生活クラブ共済ハグくみについての説明をじっくり聞いてくれる人がいました。とりわけ「生活クラブまちづくり基金」は丁寧に説明し、27名が賛同して申し込みました。今後も賛同を得られるよう継続して活動していきたいです。運営委員会は組合員集会の目的を紹介活動ととらえ、来所した組合員全員に「お友だち紹介」をお願いしました。

組合員も世代交代の時期を迎えています。生活クラブが親から子へ、子から孫へと未来へつなげていくことの大切さをアピールしました。



【私たちのまちの身近な居場所】

生活クラブ神奈川では、居場所活動を行う組合員と地域の人たちのアソシエーションを支援するために基金を設けて助成しています。湘南エリアで基金の助成を受けて居場所活動をしているアソシエーションを紹介していきます。

◆まなぶばトレック◆

まなぶば TREK は「学校の外でも子どもが安心していられる居場所や学び場が欲しいな」という想いを抱えた親子・ママ達がつくった、藤沢・茅ヶ崎のフリースクールです。

活動をしていくうえで大事にしていることは3つ。

- ①子どもも大人もありのままの自分でいられる安心できる居場所であること
- ②子どもたちが自分で考え行動し感じて表現すること
- ③ユニークで豊かな感性や特徴の持ち主である子どもたち一人ひとりの個性がそのまま生かされていくような、自然体であること

決まりきった固定のルールはありません。対話を繰り返し都度決めていくことが多いです。通うみんなにとってまなぶば TREK は、そのままの自分を受け入れてくれる第二の家族ともいえる場所。みんなでお昼ごはんも作る日もあります。豊かな自然の中で自分の頭と身体と心で知恵を覚え、学びを得ていくことで、こどもたちは強くたくましくなっていくことを願いつくられた、学びの場です。



【防災・減災コミュニティ活動に今年も取り組みます】

2024/9 ~ 2025/1

コモンズでは個配の組合員が9割以上になり、近隣に組合員がいることを知らない人も多くなっています。そこで近隣の組合員同士が顔見知りになり、ちょっとした困りごとから災害時まで、いざという時に声をかけ合える関係をつくるために防災・減災コミュニティ活動に取り組んでいます。

9月から1月にかけて、「コミュニティリーダー」と呼ばれる組合員を中心に、顔を合わせる場が開催される予定です。対象となるのは一部の組合員ですが、コミュニティリーダーから案内がありましたら、ぜひ参加してみてください。



はたらつく通信①

「はたらつく」ってどんな場所？

「はたらつく」では生活クラブ神奈川、湘南生活クラブ、ワーカーズコレクティブ協会の3者が共同企業体として、行政から受託して生活困窮者の就労準備支援事業等を担っています。

県内の座間市、足柄下郡(湯河原)、平塚市、綾瀬市に事業所があり、事業所ごとに利用者によりそい、地域の特性にあった支援を行っています。生活困窮者の課題解決を地域づくりとしてとらえ、生活クラブならではの市民による支援を実践しています。「はたらつく・ゆがわら」「はたらつく・ひらつか」でも組合員がボランティア等に参加したり、クリスマス会に寄付をしたり、地域情報を提供したりと幅広く協力してくれています。湘南の組合員にさらに興味をもっていただけるよう、今年度の広報湘南に「はたらつく・ゆがわら」と「はたらつく・ひらつか」の様子を連載させていただきます。

はたらつく・ゆがわら代表 柏木晶子